

# アジール じんげん asile

秋冬号  
2014  
大谷大学広報誌

「基礎力」を身につけ、より良い学びへ





Discussion about OTANI

## 2014年4月にスタートした 「ラーニング・スクエア(学習支援室)」

“基礎力”を身につけ、より良い学びへとつなげるため、苦手科目の克服はもちろん、学ぶ力そのものが鍛えられる“もうひとつの学びの場”としての魅力について、実際に活用する学生二人と共に語り合いました。

**始まりは「苦手克服」  
学ぶ楽しさと出会う**

**木越** お二人はどういうきっかけでラーニング・スクエアを利用するようになったのですか？

**永見** 高校の頃から英語が苦手で、大学に入ったら基礎から学びたいと考えていたんです。そこで、西尾先生の「英語(総合)」の授業でラーニング・スクエアの話を聞き「これだ」と思いました。

**和田** 私も最初のきっかけは「英語(総合)」の授業です。課題のプリントが出来なくて、西尾先生から「ちょっと来てください」と呼び出されました(笑)。

**木越** 利用してみたいかがですか？

**和田** 正直、最初は嫌だったんです。でも、アドバイザーの先生方がとても丁寧で教えてくださって、「大丈夫！出来るよ」という励ましも嬉しかったですね。そして、少しずつわかるようになって英語が楽しくなってきました。

**木越** アドバイザーは若い研究者の方々ですが、皆さんと年齢が近いという点も魅力なのではないでしょうか？

**永見** そうですね。気負わず何でも相談できるというか、学生目線でアドバイスくださるのがとても親しみやすいです。「大学と学生を結ぶパイプ役」のような存在だと思います。

**和田** 授業ではなかなか聞けないことも気軽に聞けるし、ちょっとした雑談から学ぶことも多くて、楽しみながら学ぶ雰囲気があるのも魅力です。

**木越** なるほど。ところで、ラーニング・



スクエアでは英語以外にもさまざまな学習支援を行っていますが、お二人は他の面でも利用していますか？

**和田** はい。レポートの作成の仕方とか、第二外国語も見てもらっています。

**永見** 僕もそうです。一つ出来るようになると自信もつくしモチベーションも上がりますから、もつともつと、いろんな面で学びたいという意欲が湧いてきますね。

### 学ぶ基礎力を身につけ

### 将来に向けてステップアップ

**木越** 大学の学びは高校までの授業形態と違って、相手の話を正確に聞き取りその意味を理解・思考したうえで、自身の考え方を確立し表現していくことが求められます。そこでは聞く力と共に、話す力や書く力、自己表現力も必要。ラーニング・スクエアは、そうした大学での学びに必要な力を養う場でもあるのですが、それを実感することはありますか？

**永見** 大学では原書を読み解いたり、レポート作成や発表の機会が多いと聞きますので、英語力や日本語表現力をサポートしてもらえるところはとても心強いです。

**和田** それに、いろいろな質問するなかで対話力も鍛えられます。私は人と話すのが苦手だったので、アドバイザーの方々や他の学生と対話していくうちに積極的に話せるようになりました。

**永見** これからの専門学習をきちんと

吸収するための「基礎固め」ができる場所だと言えるでしょうね。

**和田** だからこそ、もつとたくさんの学生に利用してほしい。ラーニング・スクエアで基礎力を身につければ、これからの大学での学びがより良いものになると思うんです。

**永見** そうですね。また、その他にも留学をするならGLOBAL SQUARE、教員をめざすなら教職支援センターと、大谷大学にはさまざまなサポートがありますから、自分のやりたいことや夢に合わせて積極的に活用していきたいと思っています。

**木越** まずはラーニング・スクエアで学ぶ基礎を身につけて、そこから専門研究へ、将来のための学びへと、ステップアップしていくイメージですね。

**永見** はい。そのためにも、ラーニング・スクエアを知らない人、興味のない人にも、「一度足を運んでみて！」と言いたい。

**和田** 響流館はちょっと遠いのが難点ですけど(笑)。

**永見** 一度来れば億劫さも感じなくなると思いますよ。本当に親しみやすく、楽しい場なので。

### 学力だけではない 人として成長する学びを

**木越** お二人の話をお聞きして、ラーニング・スクエアは単に学力のサポートだけではなく、将来に向けて成長する場にもなっているように感じますね。

**永見** 確かに、コミュニケーション力がつくといろんな人との関わりが生まれ、そのなかで自分の視野も広がっているかもしれない。

**木越** そう。自分とは違う価値観に触れること、そこから生まれる疑問を持つことが実はとても大事。それは、自分一人だけの学習では成し得ないことでもあります。知識を身につけることはもちろん大切ですが、そのなかで疑問を持ち、解明し、自分なりの考えを確立していく力こそが、これから社会で生きていくために必要な力です。

**和田** 確かに。大学では試験の採点としての「正解」を出せば良いというのではなく、自分自身の考えや主張が求められますよね。

**永見** いろんな質問をぶつけることで、新しく見えてくるものもあります。

**木越** だから、教員の言葉にもどんな疑問を持つてほしい。人それぞれ個性も経験も異なるので違いがあつて当然です。そのなかで相手の話を正しく聞く、そして自分自身の考えを持ち言いたいことを正しく伝える…それが、人としての成長を促す大切な要素です。

**和田** そういう意味においても、ラーニング・スクエアでの学びは、とても役立っているように思います。

**永見** 学ぶための基礎力が身につけば、大学生活はもつともつと充実するはず。そのための第一歩を、ぜひラーニング・スクエアで踏み出してほしいですね。



ラーニング・スクエアの様子



哲学科第1学年／永見 拓也



文学科第1学年／和田 ひな子



教育・学生支援担当副学長／木越 康



# キャンパストピックス



## ●●● キャンパス整備の工期スケジュール

工期	期間	概要
第1期	2014年6月 ～ 2015年2月末	(1) 来客用駐車場 / 移転先工事
		(2) 学生支援部事務室・個人研究室 / 仮校舎建築工事
		(3) 3号館 / 移転先工事
		(4) 弓道場 / 移転先新築工事
		(5) 駐輪場 / 移転先工事
第2期	2015年3月 ～ 2016年9月末	(1) 駐輪場(東側キャンパス) / 本格稼働開始
		(2) 仮校舎(学生支援部事務室・個人研究室) / 本格稼働開始
		(3) 3号館 / 移転先での本格稼働開始
		(4) 聞思館・至誠館・3号館 / 解体工事
		(5) 新教室棟(南側部分) / 新築工事
第3期	2016年10月 ～ 2018年2月	(1) 新校舎棟(南側部分) / 稼働開始
		(2) 1号館(旧館) / 解体工事
		(3) 新教室棟(北側部分) / 新築工事
		(4) 新教室棟・響流館連結ブリッジ / 新築工事
竣工	2018年4月1日	(1) 新教室棟の本格稼働開始
		(2) 仮校舎の解体【2018年4月1日～】

## 本部キャンパス総合整備計画

### 自ら創る「学び」のかたち — 伝統を、社会に開き、未来へつなぐ —

大谷大学は、教育・研究力のより一層の充実を図り、学生が主体的に学ぶことができる新しい環境づくりをめざして、2018年完成を目標に、新教室棟の建築を含めた本部キャンパスの総合整備に着手します。

このキャンパス整備によって、地域に密着し、社会に開かれた大学になると共に、学生が主体的に学び、自らの可能性を、自らの発想力と創造力で伸ばしていくことのできる新たな学修環境の実現を図りたいと考えています。

具体的には、「能動的な学習を取

り込んだ授業Ⅱアクティブラーニング」(プレゼンテーション、ディスカッション、体験教育、地域活動、課題解決型学習(PBL)など)に対応した設備の充実を図っていきます。

キャンパス整備の工期スケジュールにもあるように、烏丸通西側キャンパスの博綜館南側への仮校舎の建築工事が完了し、教務課、学生支援課の機能は仮校舎に移りました。キャリアセンターは、2015年2月中旬まで至誠館での運用となります。聞思館個人研究室の機能は、次年度から仮校舎での運用となります。

## ●●● キャンパス整備の理念

- CONCEPT 1 グランドデザインに基づく新教室棟ならびにキャンパス整備
- CONCEPT 2 教養教育の充実と基本的読み書き能力の強化に向けた計画
- CONCEPT 3 学生ロビーを中心に多様な教育空間を実現し主体的な学びをサポート
- CONCEPT 4 ユニバーサルデザインや環境に配慮したキャンパス整備
- CONCEPT 5 「尋源館(旧本館)」をシンボルとしたキャンパス整備
- CONCEPT 6 新教室棟の早期利用開始を前提とした整備計画

## 2014年度 春季大会結果 Club Information

### 卓球部

- 平成26年度春季関西学生卓球リーグ戦(男子) 4部Cブロック4位
- 春季 京都九大戦 ダブルス、ベスト8、ベスト16

### 柔道部

- 第65回京都学生柔道大会(男子) 2部6位

### 硬式野球部

- 平成26年度京滋大大学野球連盟 春季リーグ戦 1部3位
- (「ストナイン賞」) 那谷 翼 / 社会学科第4学年

### ソフトテニス部

- 平成26年度関西学生ソフトテニス春季リーグ戦 9部1位 8部昇格

### バドミントン部

- 京都学生バドミントンリーグ戦 男子3部Bブロック2位 女子3部Aブロック1位 2部昇格
- 関西学生バドミントン春季リーグ戦 男子6部Cブロック3位 6部残留 女子5部Bブロック1位 4部昇格
- 関西学生バドミントン選手権大会(個人戦) [男子ダブルスB ベスト16] 坂本 直樹 / 国際文化学科第4学年 水上 量順 / 真宗学科第1学年
- 女子シングルスB ベスト4 土田 琴未 / 幼児教育保育科第2学年

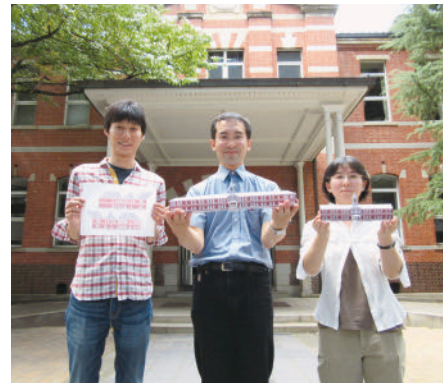
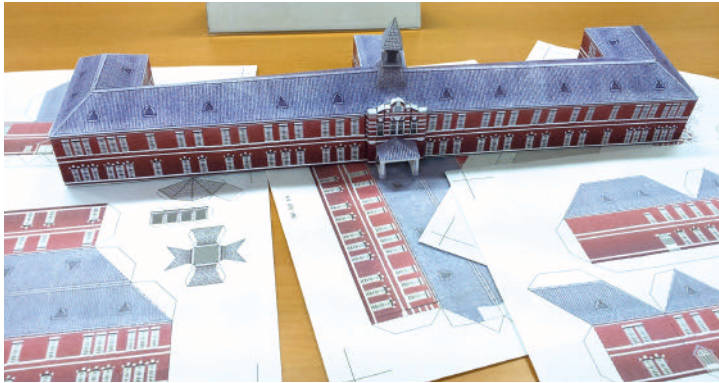
### 自動二輪同好会

- キャンパスオフロード 第2戦 エンテューロ学生エキスパート 4位

## 尋源館と旧本館の 3D回転画像とペーパークラフト

真宗総合研究所の大谷大学史資料室では、年史編纂を目的とした大学に関する史資料の収集・整理・保存を業務としており、また、本学の歴史について多くの方に関心を持っていただくために、冬から春にかけて図書館1階エントランスにて展示も行っています。

このたび、大谷大学のシンボルである尋源館が2013年に100周年を迎えたことを記念して、当資料室の藤田義孝室長を中心に、今の尋源館と旧本館(昔の尋源館)を3D



回転画像とペーパークラフトで再現しました。旧本館とは、1913年に大学が京都の地に移転・開設した際に建設された赤レンガ本館のことで、1981年に両翼部を削除する形で改修されて、今の尋源館の姿となりました。そこで、もう見ることでできなくなった旧本館と今の尋源館の両方を立体として作成し、比較できるようにしました。

尋源館と旧本館の3D回転画像とペーパークラフト用印刷データは、いずれも大学ホームページで公開しています。3D画像を回して見たり、ペーパークラフトを作ったりしながら、かつての赤レンガ本館がどのように変化したのか、また、普段見られない角度からの尋源館はどうなっているのかをぜひ確かめてみてください。

【大谷大学史資料室】

2014年3月14日(金)

## カナダオカナガンカレッジ 本学訪問

2014年3月14日(金)、学術交流協定校である、カナダのオカナガンカレッジの国際交流担当者が本学を訪問されました。同大学英語プログラムへの留学を希望する学生と面談いただき、留学前・留学後の学習計画やオカナガンカレッジのあるケローナ地区のことなど、さまざまな質問に丁寧に答えていただきました。

本学からは、オカナガンカレッジの英語プログラムへ留学をすることができ、上級クラスではアカデミックプログラムの授業も選択をすることができます。

オカナガンカレッジ以外にもさまざまな地域に学術交流協定校があり、留学制度を利用して「語学留学」や「正規課程留学」をすることができます。

留学に興味のある方は、GLOBAL SQUARE(響流館3階)におたずねください。



→ 詳しい情報は…大谷大学ホームページ <http://www.otani.ac.jp/2014>

## 人事情報 personnel information

### 依願退職

【事務職員】

松浦 剛

(総務部)

2014年3月31日付

後藤 秋華

(総務部)

2014年4月30日付

村上 力

(学生支援部)

2014年5月31日付

### 【事務系嘱託】

松石 亜也

(学生支援部)

2014年3月31日付

岩本 恵

(総務部)

2014年8月31日付

高峯 章子

(総務部)

2014年9月30日付

### 新規採用

【教育職員】



田中 潤一  
(准教授/文学部/  
教育・心理学科)

2014年9月1日付

### 【学習支援アドバイザー】

黒澤 祐介

(総務部)

2014年5月7日付

瀬戸 奈美子

(総務部)

2014年7月1日付



2014年6月11日(水)

## 2014年度

## 第1回テイク懇談会を開催

本学では、身体に障がいのある学生への講義保障として、ノートテイク・板書テイク・パソコン板書テイクを取り入れており、有償ボランティア学生(テイクカー)がサポートしています。

6月11日(水)に開催した第1回テイク懇談会では、利用者とテイクカーとのグループワークを行い、それぞれの疑問点や不安感について積極的に話し合い、利用者とテイクカー相互の理解を図りました。また、このサポート制度の課題であるテイクカーの不足についても、学内行事や他のボランティア活動での積極的な声かけやiPadを使った新たなテイク方法を検討といった案も出され、有意義な懇談会となりました。

テイクカーは随時募集しています。この記事を読んで少しでも関心を持たれましたら教務課、学生支援課の窓口までお越しください。

第2回テイク懇談会は10月29日(水)に開催予定です。



2014年6月25日(水)

## 課外活動団体

## 顧問リーダー合同会議を開催

本学では、66の公認課外活動団体(クラブ)が活動しており、各団体には本学専任教員が顧問となっており、クラブを運営するうえでの指導・助言を行っています。

会議の冒頭で鈴木寿志学生部長は「昨年度はリーグの昇格を果たしたクラブや学外で活躍をしたクラブが多くある。その影響からか、今年度のクラブの加入率も増加している。今後もクラブの皆さんには活躍していただきたい。」と挨拶で述べ、クラブ活動のより活性化を促しました。続いて学生支援課からSNSの使用に関する注意や補助金について説明がありました。

この会議は、クラブの体制が整う時期に、1年間の目標を設定する意味で、夏期休暇や後期に向けた活動内容を顧問と再確認する場として開催しています。会議のメインである懇談の時間では、設定した時間を超えて話し合うクラブもいくつかありました。



2014年7月8日(火)

助教企画講座

## 「学生のためのガクモン講座」開催

「『桃太郎』をガクモンする！—文学・社会学・真宗学・哲学—」をテーマに4つの学問分野からアプローチし、おとぎ話の持つ豊かさを明らかにしていきます。当日は60名を超える学生の参加がありました。

安藤秀幸(文学科)先生からまず、『桃太郎』の歴史やどのように伝えられてきたのか、また特徴的な要素について説明がなされました。上田早記子(社会学科)先生は「社会福祉の観点からすると、桃太郎と鬼の共通点は社会から孤立していることである。鬼を一方的に社会から排除するのではなく、社会のなかで問題を解決することが大切である。」と意見され、青柳英司(真宗学科)

先生は「親鸞の考え方で言うところ、悪い鬼というのは人間が欲望のままに生きることを肯定するものである。そのため、鬼退治というのは、欲望に従ってはいけないという教えとして読むことができる。」と述べられていました。林晋雄(哲学科)先生は「本当に『めでたし、めでたし』で物語を終えることができるだろうか。鬼の側から考えると、親を殺される子鬼にすればめでたいわけがないという見方もできる。当たり前とされていることを疑うということが哲学の基本であると同時に学問の本質ではないか」と語られました。

最後のディスカッションでは、「どんな学問分野でも、深く研究するためには、多角的な視点が必要であるが、一人で行うことは難しいので、助け合うことが大切である。総合研究室はそのための理想的な場ではないか。」という意見も出て、話が大いに盛り上がりました。



# 紫明祭2014

多くの笑顔や思い出が生まれる紫明祭。今年も最高の思い出をつくろう!



今年のテーマは

## 大谷細胞がうづく!

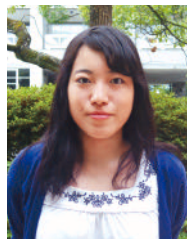
今年もこの季節がやってきました。大谷大学内に活気あふれるお祭り、紫明祭です。皆様楽しんでいただけてますよう私たち実行委員会一同、日々準備を進めています。

2014年度の紫明祭のテーマは「大谷細胞がうづく!」です。今年度の紫明祭のテーマは実行委員会だけでなく、谷大生からの募集と投票により決定させていただきました。

この「大谷細胞がうづく!」は、「谷大生一人ひとりを細胞になぞらえて、その一つひとつが成長し、学園祭でひとつに合体することで、盛り上がることで間違いなし!」という理由のもと、多くの学生から選ばれました。

うづくという言葉は心が痛んだり、体に傷を負ったりした時に使う言葉ですが、今年度、なぜこの言葉をテーマに盛り込んだかというところ、何かを成し遂げるためには必ず、苦労や悩みがともなうものです。例年楽しいことばかりに目を向けていたが、今年度の紫明祭では裏方や、支えてくれる方、全ての関係者にスポットライトを当てたいと思います。準備などの過程におけるさまざまな苦労を乗り越え、みなさんと一緒に紫明祭を形作っていきたいと思います。

そして例年、来場者の方々には紫明祭当日だけを見ていただきませんが、今年度は谷大生たちが準備などのなかで楽しみつつ、時には苦しみながらも成長していく過程をご覧になりたいと思います。10月7日(火)からは、紫明祭に向けての、プレイイベントも開催されます。私たちと一緒に紫明祭に向けて盛り上がっていきましょう。プレイイベント等の詳細については、大谷大学学園祭実行委員会公式ホームページをご覧ください。



学園祭実行委員会委員長  
人文情報学科 第3学年  
西村 理恵

ぜひ、紫明祭へ最高の思い出を作りにきてください。

### 紫明祭プレライブ 日程

回数	日程(予定)	出演団体(予定)
第1回	10月1日(水)	未定
第2回	10月7日(火)	京炎そでふれー志舞踊ー
第3回	10月15日(水)	軽音楽部
第4回	10月17日(金)	未定
第5回	10月22日(水)	フォーク研究会
第6回	10月24日(金)	アメリカ民謡研究部
第7回	10月29日(水)	ジャズ研究会
第8回	10月31日(金)	未定
予備日	11月4日(火)	ー
第9回	11月5日(水)	三部合同ライブ

◎全日ともサンクンガーデン特設野外ステージにて昼休み(12時15分開演予定)より開催。



## EVENT SCHEDULE イベントスケジュール

大谷大学学園祭実行委員会公式ホームページ  
<http://shimeisai.com/>

Twitterアカウント  
[@shimeisai](https://twitter.com/shimeisai)

11/7 金  
時間 17:00 ▶ 19:30

**前夜祭** 「笑う阿呆に、見る阿呆、同じ阿呆なら笑わにゃ、損! 損!」  
紫明祭を盛り上げるための前哨戦として、お笑い芸人による漫才、ピンゴ大会等を企画。

11/8 土  
時間 16:00 ▶ 19:30

**内部・外部音楽イベント** 「<sup>こえ</sup>と<sup>おと</sup>音楽 ～繋ぐ・広がる・響き合う～」  
学内団体、学外団体による音楽パフォーマンスを披露。

11/9 日  
時間 16:00 ▶ 17:00

**プロアーティストコンサート**  
「スガ シカオ」によるコンサートが開催されます。ぜひ、お楽しみに!



プロアーティスト: スガ シカオ

時間 18:00 ▶ 20:00

**後夜祭**  
2014年度紫明祭の幕引きとして、展示・模擬店の表彰や思い出ビデオ・エンドロール上映を予定。



ENJOY!

ライブ

アフタースクールをもっと楽しもう!

今回はボリュームたっぷり定食のお店  
「御食事処 みなとや」をご紹介します。  
ぜひお友達と誘い合っ出てかけてみてね!

## 大谷大学との深い関わり。創業はなんと87年!

みなとやは創業87年を誇るお店で長年、  
学生、地域の人そして会社員の方など、  
さまざまな方に愛されてきました。

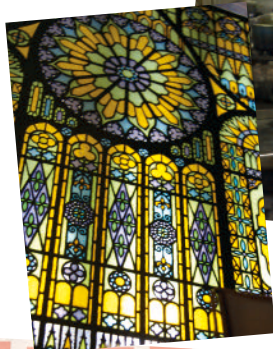
お客さんは常連客が多く、いつも同じ席にすわる方や同じメニューを頼む方がたくさんいます。3代目店主の湊谷さんは1人ひとりのお客さんに心をくばることを大事にしており、味の調節や量の調節などお客さんに合わせて対応されています。こんなに長く続けられてきた秘訣を聞くと、お客さんとの関わりを深くもっているからではないかとおっしゃっていました。



店内の水槽には  
メダカや  
ウーパールーパーが!  
かわいいお魚たちに  
癒やされる♪

### 50年以上に渡る 大谷大学との関わり

みなとやさんには学生はもちろんのこと、教職員も多く来店します。先生方のことを学生だった頃から知っている程、創業当時から大谷大学とはとても関係が深いです。親しみやすい店主の人柄とほっとできるお店の雰囲気から、京都に立ち寄る際にみなとやさんにお越しになる方も多くいます。長年にわたる大谷大学との関係がこれからもずっと続くことを願っています。







写真左より 宇野 桃子(第4学年)・大伴 瑠弥(第4学年)・練木 伊織(第4学年)・西川 正和(第4学年)

今回は私たち国際文化学科  
シヨバゼミ(インド文化研究)所属の  
4人が紹介します!

インドは、私たち日本人には考えもつかないものごとのとらえ方が多く、遠い昔の文化が残っている魅力的な国です。食文化、宗教心、現代の社会問題などを取り上げ、先生や仲間たちと楽しく勉強しています!

# 谷大



## おすすめの看板メニュー!

よく食べられるメニューのランキングがあり、月曜日～土曜日まで日替わりメニューがあります。A.B.C定食はご飯やサラダ、赤だしもついているため学生さんにとっても人気です。ジャンボチキンカツも人気メニューのひとつで、安くとてもボリュームがあります。赤だしには八丁味噌を使用したり、キャベツは柔らかくて甘いグリーンボールを使うなど材料にも大変こだわっています。冷凍食品は使っておらず、すべて手作りで、値段も約20年ずっと変えずに提供しています。



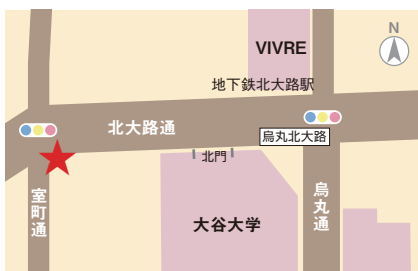
安くてボリューム満点!  
どれにしようか  
迷うなあ!



メインはもちろん  
お味噌汁から  
ソースまで  
ぜんぶ手作りで  
体にやさしい!



今回ご紹介したお店の情報はこちら!



店名 御食事処 みなとや  
住所 京都府京都市北区小山東大野町81  
交通 地下鉄烏丸線「北大路」駅より徒歩2分  
営業時間 11:00～20:00 (オーダーストップ20:00)  
定休日 日曜日





## 2013年度 就職決定状況

2013年度文学部卒業生の就職率（就職者・就職希望者）は、90.3%となり、前年度に比べ3.1%上昇しました。就職先を業種別にみると、小売業、サービス業、製造業、卸売業などの一般企業に約60%、教員を含めた教育・学習関係に13%、社会福祉関係に約9%となりました。また、短期大学部卒業生の就職率は、前年度と同様100%となりました。就職先としては、幼稚園に約23%、保育所に約65%、一般企業等に約11%となっています。（左ページ参照）

## 現在の就職状況

2008年のリーマン・ショック以降、長く続いていた学生を取り巻く厳しい就職環境は、景気の回復とともに好転の兆しを見せています。

本年度の大学新卒者の有効求人倍率（学生一人あたりの求人件数）は、1.61倍で、昨年の1.28倍から上昇しており、企業側の採用意欲はますます高くなっています。現在の文学部第4学年の状況を見ると、前年度同期期に比べて、内定を得ている学生数は多く、一人で複数の内定を得ている割合も高くなっています。ただし、企業側の採用意欲が高くて、求める人物像の学生と出会えず、企業にとっては「採用難の時代」とも言われています。いわゆる「厳選採用」の傾向は依然続いており、学生にとって楽観を許す状況ではありません。

一方、学生の就職活動においては、来

年度に卒業を迎える学生から、大学側の「申告せ」と企業側（日本経済団体連合会）の「倫理憲章」にかわる「指針」により採用選考にかかる活動時期が変更されます。具体的には、企業による採用広報活動が卒業前年度の3月1日、採用選考が8月1日とこれまでよりも3〜4ヶ月遅れての開始となります。この「指針」に賛同する企業は大手・上場企業や金融機関など少数派であり、多くの企業が未だ活動開始時期を明確に示していませんが、採用選考はこれまでに以上に短期間に集中することが予測されます。

また、就職環境が好転しているという報道を鵜呑みにして、就職活動を楽観視し、十分な準備をせずに就職活動に臨む学生が多く見受けられます。

したがって、本学における就職支援企画のスケジュールは、大幅な変更を行わず卒業前年度の後期から本格的に開始し、後期定期試験までに基本的な準備を整えられるよう計画しています。

## 今後の就職支援

キャリアセンターでは、就職に限らず、個々の学生が納得のいく進路決定ができるよう個別相談を中心として、各種ガイダンスや講習など、さまざまな支援企画を実施しています。

卒業前年度の就職希望者に対しては、前期に職業適性検査や筆記試験対策、後期に入り、履歴書作成や業界研究に関する就職ガイダンスなどを実施

しました。また、10月中旬以降は、企業研究、職種研究に関する就職ガイダンスやビジネスマナー、面接などに関する支援企画を予定しています。特に、この時期に取り組みが必要なのは、現在実施している履歴書（私の特徴、学生時代に力を注いだこと）作成のための個別面談です。履歴書は、採用選考の第一関門となる重要な提出書類ですので、できるだけ早期に土台作りしておく必要があります。また、後期定期試験後の2月には、就活直前ガイダンスのほか、面接実践講座や企業研究会、就活強化合宿を実施します。

これらの支援企画については、キャリアセンターでの掲示、学生個人への電子メールのほか、現住所宛に送付する郵便ハガキでお知らせしますので積極的に参加してください。

なお、教員、公務員をめざす学生、進学希望の学生は、別途支援していますので、窓口で問い合わせてください。

2016年3月卒業・修了予定者対象

## 【今後の就職支援ガイダンス・講座等】

- ・履歴書作成のための個別面談〔10〜11月〕
- ・第2回筆記試験模試・解答解説講座〔10月〕
- ・第4回就職ガイダンス（企業研究）〔10月〕
- ・第5回就職ガイダンス（職種研究）〔11月〕
- ・就職活動報告会〔11月〕
- ・ビジネスマナー講座〔12月〕
- ・面接対策ガイダンス〔1月〕
- ・企業研究会〔2月〕
- ・面接実践講座、フロッガーガイダンス〔2〜3月〕
- ・就活強化合宿〔2月〕
- ・就活直前ガイダンス〔2月〕
- ・学内合同企業説明会〔3月〕



## 文学部第1学年、第2学年で就職を希望するみなさんへ

就職活動はまだ先と考えていると思いますが、日々の学生生活が卒業後の進路に大きくかわっていることを知っていますか。

社会人として求められる力として、「基礎学力」「コミュニケーション力」「主体性」「協調性」が挙げられますが、これらの力は容易に身につくものではありません。日頃から学業だけでなく、クラブ活動やボランティア活動、アルバイトなどの課外活動に取り組み、さまざまな人々と交流することなどにより養うことができるものです。

現在の学生生活は充実しているのか？自分は成長しているのか？など、自分自身に問いかけてみましょう。

自由な学生生活のなかで、積極的に新しい経験、継続的な体験などに挑戦し、自らの可能性を広げつつ、まずは将来の目標・夢を見つけましょう。



# 2013(平成25)年度卒業生進路決定状況

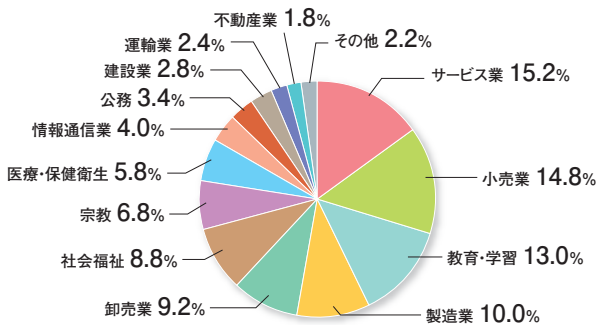
## 文学部

卒業生	就職希望		進学		聴講生科目等	一時的な仕事に就いた者	左記以外
	就職者	就職活動継続	大学院	大学短大専修学校			
732	501	54	29	12	14	44	78

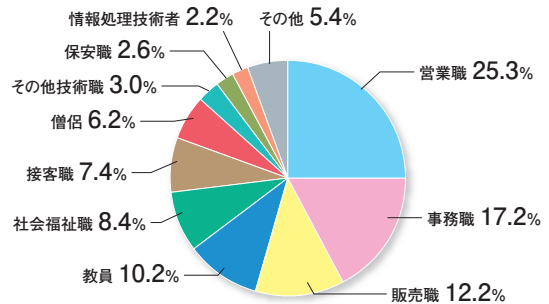
就職率 = $\frac{\text{就職者}}{\text{就職希望者}}$	進路決定率 = $\frac{\text{進路決定者}}{\text{卒業生}}$
90.3%	74.0%

※進路決定者=就職者+進学者

### 業種別進路決定状況



### 職種別進路決定状況



### 2013年度就職先(抜粋)

建設業	運輸業	卸売業	福祉・医療	教育・学習
大東建託(株) 大和ハウス工業(株)	(株)関西丸和ロジスティクス (株)サイ引越センター 西日本旅客鉄道(株) 福山通運(株)	(株)ACN 石黒メディカルシステム(株) (株)カモガワ 京都青果合同(株) 滋賀特機(株) (株)ジャンビパレッジホールディングス 総合食品エスイー(株) ニシムラ(株) プリダストンタイヤ北大阪販売(株)	(医)社団恵心会 京都武田病院 (社福)京都老人福祉協会 (社福)南山城学園 (社福)栗東市社会福祉協議会 (株)ファーマシィ 洛和会ヘルスケアシステム	大谷大学・大谷大学短期大学部 京都翔英高等学校 小松大谷高等学校 彦根総合高等学校 アソカ幼稚園 北野幼稚園 むらさき幼稚園 大阪府教育委員会 京都府教育委員会 滋賀県教育委員会 千葉県教育庁 大津市教育委員会 京都市教育委員会 長浜市教育委員会 奈良市教育委員会 守山市教育委員会
製造業	小売業	サービス業	金融・保険業	国家公務・地方公務
エンゼルブレイングカード製造(株) オーナンパ(株) 佐川印刷(株) 大和冷機工業(株) 日本食研ホールディングス(株) (株)ユーシン精機	(株)エービーシー・マート (株)オンリー (株)コスモネット (株)コメリ 滋賀トヨベツト(株) (株)ジャパン イマジネーション (株)スギ薬局 生活協同組合コープしが (株)ハートフレンド(スーパーフレスコ) (株)バル (株)マルヤス (株)メガネトップ (株)リカーマウンテン	アーバンホテルシステム(株) (株)いなかぐ 京都市農業協同組合 総合警備保障(株) (株)TADコーポレーション 日本郵便(株)(日本郵政グループ) レック大津農業協同組合	(株)京都銀行 (株)南都銀行 京都府信用漁業協同組合連合会	京丹波町役場 京都府警察本部 防衛省(陸・海・空)
情報通信業	不動産業		宗教	
SGシステム(株) 京滋ユアサ電機(株) ワールドビジネスセンター(株)	(株)エイブル (株)京都ライフグループ (株)レオパレス21		真宗大谷派宗務所 真宗大谷派難波別院	

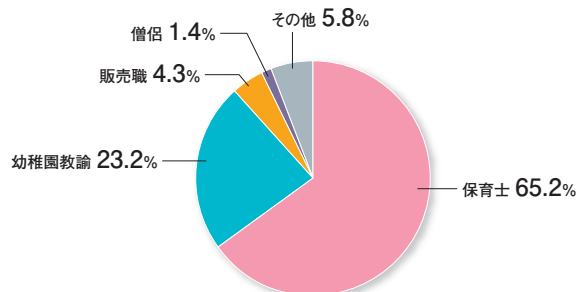
## 短期大学部

卒業生	就職希望		進学		聴講生科目等	一時的な仕事に就いた者	左記以外
	就職者	就職活動継続	編入	短大専修学校			
83	69	0	2	0	3	3	6

就職率 = $\frac{\text{就職者}}{\text{就職希望者}}$	進路決定率 = $\frac{\text{進路決定者}}{\text{卒業生}}$
100.0%	85.5%

※進路決定者=就職者+進学者

### 職種別進路決定状況



### 2013年度就職先(抜粋)

保育所	幼稚園	児童養護施設
安曇川はこぶね保育園 一乗寺保育園 柏原保育園 かつらのみや保育園 桂ぶどうの木保育園 亀岡市役所(保育士) 川島保育園 北白川いずみ保育園	草津保育園 草津大谷保育園 甲南のぞみ保育園 このしま保育園 朱一保育園 大徳寺保育園 たかつかさ保育園 月かげみどり保育園	ときわ保育園 奈良市役所(保育士) 西大路保育園 ひかり保育園 横島ひいらぎ保育園 村松保育園 山ノ内保育園 るびにー保育園
	あぐい幼稚園 今宮幼稚園 近江八幡市役所(幼稚園教諭) かもがわ幼稚園 桂陽幼稚園 さくら幼稚園	紫明幼稚園 西山幼稚園 野洲市役所(幼稚園教諭) 洛西花園幼稚園 洛東幼稚園 洛陽幼稚園・洛陽第二幼稚園
		(社福)湘南学園 (社福)平安養育院
		企業 (株)あけぼの学院 (株)総合計算センター

# Our teacher 私たちの先生

公平な視線で学生一人ひとりと向き合ってくれる、穏やかで頼れる存在です。

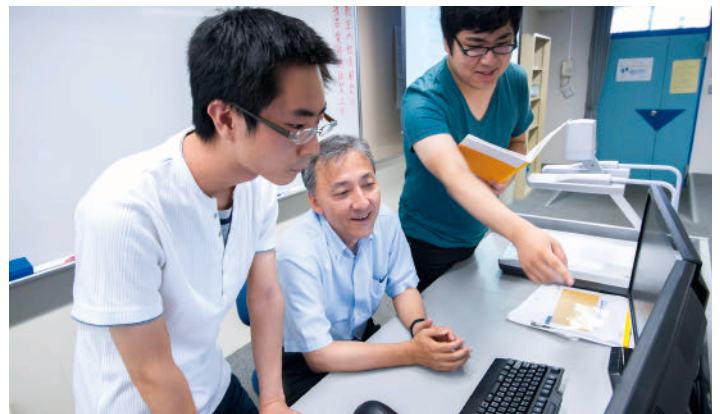
哲学科 教授  
渡辺 啓真

1959年生まれ。京都大学大学院文学研究科哲学専攻(倫理学)博士後期課程単位取得退学。文学修士。大谷大学文学部専任講師、助教授を経て、2004年大谷大学文学部教授に着任。現在に至る。  
専門/倫理学(英米を中心とする近・現代思想)



西洋の倫理思想における古典的なテキストからの抜粋を読み込みながら、倫理学の基礎を学んでいくのが渡辺ゼミです。授業にはゼミ生だけがアクセスできるゼミ専用ホームページの掲示板やwikiページを活用。学生各自が書き込み、それらをリアルタイムで共有できるので、授業中はもちろん自宅学習も有意義に進めることができます。また、各自が担当テーマについて研究を行い発表していくという手法のなかで、自らの考えをまともな人に伝えていく表現力も養われます。

そうした授業のなかで、渡辺先生は学生の主体性を大切にしながらも的確な質問やアドバイスで方向性を示してくださいます。たとえ間違った場合でもそれを厳しく叱るのではなく、きちんと筋道を指し示してくださるので、学



紹介してくれた哲学科 倫理学・人間関係学コース 渡辺ゼミ(第4学年) 松本さん[左]、安田さん[右]

生は萎縮することなくのびのびと学ぶことができますね。また、積極的に発言する学生、口下手な学生、話すより書くことのほうが得意な学生とゼミにはさまざまな個性が集まっていますが、一人ひとりときちんと向き合い、それぞれに合った接し方をしてくださるところが大きな魅力。ともすれば取り残されがちになるコミュニケーションが苦手という学生も、安心して研究に打ち込むことができます。

そんな渡辺先生の人柄を表現するなら、「寛大」で「公平」。研究テーマの内容はもちろん、渡辺先生の人柄に惹かれて、ゼミに入ったという学生も少なくありません。語り口調も穏やかで、包容力と頼りがいのある大きな存在です。

## 先生から学生たちへのメッセージ

ゼミでは、各自のテーマを決定し卒業論文を作成していくための土台作りをめざしています。個々の問題意識を尊重するという方針のせいかどうか、テーマ決定が大変のようですね。しかし、例えば上記のインタビューにある「公平」ということも倫理学の重要なテーマです。少し考えてみて「渡辺は公平だ」と簡単には言えないことに気づけば、「公平ってどういうことだろう」と問うてください。そして、同じことを考えてきた先人のテキストとの出会いと他のゼミ生との議論を通して、時間をかけ行きつ戻りつ考えていきます。当意即妙のコミュニケーション力も大事かもしれませんが、ゼミでは「何かおかしいぞ」とか「これって大事じゃないか」と感じ取る力、それを考え続ける持久力を培ってほしいと思います。





# 大谷大学・大谷大学短期大学部 2013年度事業報告

## グランドデザイン推進体制 新執行部体制

2013年4月1日グランドデザインを推進する大学の執行部体制を立ち上げました。

新執行部体制は、学長、学監、副学長、学監・事務局長、教育・学生支援担当副学長（新設）、研究・国際交流担当副学長（新設）、学生部長、入学センター長、文学部長（教育・学生支援担当副学長兼務）、大学院文学研究科長、短期大学部長、企画・入試部事務部長、総務部事務部長、学生支援部事務部長、教育研究支援部事務部長の13名からなり、事務部長が加わることで、教職協働の体制で大学運営に臨むこととなりました。

## 教育に関する事業

### ① 教育推進室の活動

大谷大学での教育を学びの基礎である「読み・書き」を中心に体系化し、教育力を強化していくことが大学の方針として示されました。

この方針のもと、「日本語の読み・書き」「基礎英語」の向上を目的とし、2014年度より新たな授業科目を開講することを決定しました。日本語教育については「読み・書き」を中心とした日本語表現能力を身につけさせる科目を新規開講するとともに、既存の「演習Ⅰ（第1学年必修ゼミ）」を「読み・書き」を伸長する授業と位置づけることとしました。

英語教育については、第1学年を対象とした英語アンケートを実施し、学生から最も希望が高いTOEIC・英検などの検定対策を目的とした授業科目の新規開講を決定しました。

### ② 学習支援室の設置

「日本語の読み・書き」「基礎英語」の支援を中心とした教育の拠点となる「学習支援室」を2014年4月より開室することを決定し、準備を行いました。「学習支援室」では、きめ細やかな個別指導を主とし、授業科目との連携も図りながら、学生の基礎学力向上をめざします。

### ③ 教職支援センターの取り組み

特別支援学校教諭一種免許取得課程設置のための認可申請（文部科学省）を行い、審議の結果、2014年度より特別支援学校教諭一種免許取得課程設置が認可されました。

### ④ 国際化教育の取り組み

2013年度は、語学研修（中国・イギリス）、文

化研修（インド、中国、ヨーロッパ（フランス））の5研修を実施しました。

正課外では、中国（2）、韓国（4）、カナダ（2）、ドイツ（2）、アメリカ、イギリス、オーストラリア（各1）の計13名を海外留学に送り出すことができました。

## 学生支援に関する事業

### ① 学生サポート体制の充実

指導教員を軸とした相談体制の充実を目標に事業を行っています。2013年度は、特に障がい学生支援に重点をおきました。「校医・学生相談員との研修会」において、指導教員が学生指導上、また指導教員自身の心理的負担軽減のため、学生相談室を積極的に利用してもらえよう周知するべきであるとの提案があり、周知方法を検討しました。また、定期的に開催している「障がい学生担当者会議」では、事務所間の情報共有を行うほか、障がい学生支援に関する文部科学省等の動向を把握するため、本学教授を講師に招いて研修会を実施しました。

### ② 奨学金制度の充実

2013年度から本学名誉教授である雲井昭善氏の寄付金を財源として、経済的に修学が困難な人に給付する雲井奨学金の運用を開始しました。2013年度は、8名が採用されました。

また、4月に滋賀県社会福祉協議会より「保育士修学資金貸付制度」の案内があり、8名の学生を推薦し、全員が採用されました。

### ③ キャリア支援

各種ガイダンスなどを実施する際に、テーマおよび具体的な内容を事前に示すとともに、ガイダンス内において連関するその後の支援企画を周知しました。あわせて、これらガイダンス等の内容の理解を深めるため、また就職活動において実践するために、個別面談や模擬面接を積極的に活用するよう促しました。

## 研究に関する事業

### 真宗総合研究所

本研究所の研究事業の中心となるのは、「特定研究」と「指定研究」です。これらは、大学が主体となつて進める共同研究で、2013年度は、「特定研究」として「建学の精神」教育推進研究を、「指

定研究」として国際仏教研究および西蔵文献研究の計3研究班を設置し研究を行いました。

2013年度が3カ年計画の最終年度となる、学長を研究代表者とする「特定研究」は、研究成果として、学生と教員が共に「建学の精神」を学ぶためのテキスト「大谷大学で学ぶ―建学の精神―」を完成することができました。「指定研究」においては、学術交流、共同研究が軌道に乗り、持続的な研究成果を上げるとともに、アモン国立大学社会科学部やベトナム社会科学アカデミーといった新しい研究機関とも協定締結や覚え書きを交わすことで、国際的仏教研究のネットワークのさらなる拡充をめざしました。さらに、真宗総合研究所直轄プロジェクトとして、大谷大学史料室、東本願寺海外布教資料室、デジタル・アーカイブ資料室の3資料室をおき、関係資料の収集・整理を継続的に進めました。

また、真宗総合研究所において、教員個々の主体的な関心に基づく研究を推進するための「一般研究」としては、科学研究費助成事業に採択された研究（20件）、次年度以降の科学研究費助成事業申請のための予備研究（5件）、そして個人研究の本研究（1件）、計26件の研究を推進しました。

## 施設に関する事業

### ① 大谷大学本部キャンパス総合整備

2013年4月1日付で学園内に「大谷大学キャンパス整備建築委員会、同常任委員会」が設置され、第1回委員会において①建築委員会設置に至るまでの経緯、②設計業者（基本計画・基本設計・実施設計・施工監理）の選定、③常任委員会の設置が承認されました。なお、具体的な計画の推進は、学長の諮問機関として設置された「キャンパス整備検討会議」で基本計画書の策定へ向けた検討が開始されました。第2回委員会において、基本計画書の承認が得られたことを受け、2014年2月より基本設計書の策定段階へ移行し、具体的に計画を推進しています。

### ② 赤レンガ（尋源館）竣工100周年記念行事

2013年11月9日、尋源館が落成式より100周年を迎えるにあたり、同窓会と協働して「赤レンガ100周年記念の一日」としてホームカミングデー、記念講演「大谷大学の回顧と展望」記念パーティを開催しました。

当日のみならず、学生会による写真展・記念ライブ、キッズキャンパスにおける近隣小学生による写真大会と表彰、人文情報学科によるJINGEN

100プロジェクト（映像作品作成）、記念講演会（開学記念式典、清沢満之生誕150周年記念シンポジウムを含む）、ライトアップ、博物館秋季企画展「赤レンガの学舎」開催、写真展、尋源館パンフレット作成、屏風「親鸞」展示、記念グッズの作成・販売、学園祭企画「みんなでつくる尋源館」、100年後に送るメッセージの募集・封入等、数多くの行事が企画・展開されました。

## 社会への開放

### ① 生涯学習講座

2013年度前期の本学生涯学習講座は、開放セミナー3講座、紫明講座3講座、博物館セミナー1講座を開講しました。

また、大学コンソーシアム京都に京カレッジ京都力養成コース1講座を提供しました。

2013年度後期は、開放セミナー3講座、紫明講座1講座を開講しました。

学外団体への提供講座について、昨年度に続き、京都市企画「京あるき in 東京2014」に1講座を提供し、東京での受講層開拓を行いました。

### ② 博物館

本学主催の地域交流事業については、大谷幼稚園にて大谷幼稚園開放セミナーを合計2講座開講しました。

その他の事業について、開放セミナー「大乘仏教のあゆみ―親鸞の眼を通して―」のテーマおしを進め、合計8コマ分の作業が完了しました。

なお、eラーニング化に向けた講座コンテンツの蓄積を目的として、昨年度本学が文部科学省・私立大学教育研究活性化整備設備事業補助金を活用して設備した「授業収録配信システム」を利用して、教同上人400回記念講座「戦国の宗教者―本願寺教如―担当・大桑育名誉教授 後期開放セミナー」の収録を行いました。

## 2013年度決算

2013年度決算は、公認会計士および監事の監査を経て、2014年5月23日に開催された学校法人真宗大谷学園理事会・評議員会において承認されました。

本学の会計は、公認会計士による監査を定期的に受けて処理されています。

また、計算書類は、「学校法人会計基準」に従って、「資金収支計算書」「消費収支計算書」「貸借対照表」を作成しており、毎年、決算承認後、文部科学大臣に届け出ています。

## 資金収支計算書

資金収支計算書は、当該年度において現実に収納し、また支払った資金の収入と支出について、その顛末を明らかにするものです。

資金収入には、授業料や入学検定料、寄付金、国からの補助金のほか、次年度の授業料等の前受金等が含まれます。

2013年度の補助金収入にはメディアホールのデジタル化事業のために交付された1908万円余が含まれています。

資金支出には、学生の教育研究および学生生活にかかわる教育研究経費や教職員の人件費のほかに、学生募集の広報等の管理経費と、施設や設備関係支出があります。教育研究経費には、就職支援のためや、教職・実習支援に

■ 2013年度資金収支計算書 (2013年4月1日～2014年3月31日) (単位 円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	3,705,386,750	人件費支出	2,666,357,775
手数料収入	87,752,600	教育研究経費支出	1,062,469,568
寄付金収入	159,291,311	管理経費支出	466,825,088
補助金収入	494,675,230	借入金等利息支出	16,331,700
国庫補助金収入	494,382,000	分担金支出	12,000,000
地方公共団体補助金収入	293,230	借入金等返済支出	111,100,000
資産運用収入	141,537,494	施設関係支出	72,048,037
事業収入	21,753,676	設備関係支出	161,505,849
雑収入	188,226,681	資産運用支出	606,693,000
前受金収入	695,998,280	その他の支出	109,614,354
その他の収入	156,155,721		
資金収入調整勘定	△ 860,379,074	資金支出調整勘定	△ 66,866,945
前年度繰越支払資金	6,682,634,119	次年度繰越支払資金	6,254,954,362
収入の部合計	11,473,032,788	支出の部合計	11,473,032,788

■ 2013年度消費収支計算書 (2013年4月1日～2014年3月31日) (単位 円)

消費収入の部		消費支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金	3,705,386,750	人件費	2,664,704,762
手数料	87,752,600	教育研究経費	1,542,410,755
寄付金	163,647,178	(うち減価償却額)	(475,938,268)
補助金	494,675,230	管理経費	490,725,098
国庫補助金	494,382,000	(うち減価償却額)	(23,805,510)
地方公共団体補助金	293,230	借入金等利息	16,331,700
資産運用収入	140,037,772	分担金	12,000,000
事業収入	21,753,676	資産処分差額	24,117,674
雑収入	199,568,200	消費支出の部合計	4,750,289,989
帰属収入合計	4,812,821,406	当年度消費支出超過額	28,903,112
基本金組入額合計	△ 91,434,529	前年度繰越消費収入超過額	3,166,729,146
消費収入の部合計	4,721,386,877	翌年度繰越消費収入超過額	3,137,826,034

## 消費収支計算書

消費収支計算書は、授業料や補助金などの収入(帰属収入)と、施設・設備の減価償却額や資産除却額などを含む、その年度に消費する支出(消費支出)との内容および均衡の状態を明らかにするものです。

## 貸借対照表

学校法人の目的である教育研究活動には、施設や設備など膨大な運用財産を必要とします。貸借対照表は財産保有の状況を表し、財産が適正に維持・管理されているかどうかを示すものです。なお、当学園全体の貸借対照表はホームページで公表しています。

## 2014年度予算

2014年度予算は、2014年3月24日開催の学校法人真宗大谷学園理事会・評議員会において当初予算が承認され、新学期を迎え在学生数が確

定した後の、6月27日に開催された理事会・評議員会において補正予算が承認されました。

2014年度から、基礎英語、日本語の読み書きの支援を中心としたリメディアル教育の拠点となる学習支援室を設置し、そのための費用を計上しています。

また、キャリア支援では、現在の厳しい就職環境に対応するための取り組みを推進し、各種ガイダンス、セミナーの開催等の予算を計上しています。

2014年度も本学の教育研究の一層の充実を図るために予算を執行してまいります。



# 教育後援会だより

## 「父母兄姉懇談会」について

「父母兄姉懇談会」とは、教育後援会役員ならびに大学執行部のほか、各関係事務部門の職員が出席して、大学の現状を説明し、個別の相談にも応じる懇談会です。また、大学出席者とご父母兄姉の皆さま相互の親睦を図っていただくため、懇親会もあわせて開催しております。

## 「東北・関東地区 父母兄姉懇談会」開催報告

本年度は、7月18日(金)、19日(土)に、東北・関東地区在住のご父母兄姉を対象にした「東北・関東地区父母兄姉懇談会」が開催されました。

18日(金)は宮城県仙台市の「ホテルJALシティ仙台」において、また、19日(土)は東京都中央区の「TKP東京駅前カンファレンスセンター」において行われました。

懇談会は教育後援会役員出席のもと、学長より、大学の理念・教育目標について報告がなされ、学監・事務局長より、教育研究活動の現況および大谷大学キャンパス総合整備計画について報告されました。

関係職員からは履修状況の確認方法や登録方法について、また、奨学金制度、マナーキャンペーン等の取り組み、健康サポートなど学生生活のサポート体制について、さらに、進路就職状況や支援体制等についての説明を行い、その後の個別相談コーナーでは職員が一人ひとりの相談に応じました。

## ◆ 東海地区父母兄姉懇談会 開催日程

2014年 12月7日(日)	静岡グランドホテル中島屋 (静岡市)
2014年 12月8日(月)	TKPガーデンシティ名古屋新幹線口 (名古屋市)

## 教育後援会

大谷大学教育後援会は、全在学生の保証人が会員となって組織され、大谷大学の教育・研究の発展と、学生生活環境の整備・改善に支援を行っています。また、会員相互並びに会員と大学との交流を深めることも目的に、各種の活動を行っています。なお、毎年、役員会・評議員会を開催して様々な事業計画を企画・推進しています。



懇談会に引き続き催された懇親会では、その地域の教育後援会会友や同窓会役員の方々にもご参加いただき、なごやかなひと時を過ごしていただくことができました。

なお、今後の開催につきましては左記のとおりです。今後開催されます当該地区の皆さまには、多数ご参加いただきますようお願い申し上げます。

## ◆ 東北・関東地区父母兄姉懇談会の様子

→ 詳しい情報は… 大谷大学ホームページ <http://www.otani.ac.jp/kouyuu>

# 教育振興資金(募金)について

このたびは、教育振興資金局の募金活動にご協力いただき、ありがとうございます。ご寄付いただきました資金は、教育・研究の充実に活用するたため環境整備に充ててまいります。

また、本学は文部科学大臣から、特定公益増進法人の証明(所得控除制度)ならびに税額控除にかかると証明(税額控除制度)を受けておりますので、寄付者(個人)の選択により、どちらか一方の税法上の優遇措置

## 教育振興資金寄付者(敬称略)

- |           |             |            |
|-----------|-------------|------------|
| 青木智了(福岡県) | 雲井昭善(滋賀県)   | 野田成宣(群馬県)  |
| 秋友伸二(香川県) | 桑原英世(栃木県)   | 橋根勝義(愛媛県)  |
| 浅田純(長崎県)  | 兒玉義仁(岐阜県)   | 畠中貴達(奈良県)  |
| 天山敬信(愛知県) | 小柳謙治(佐賀県)   | 古川徳司(京都府)  |
| 井上敬博(京都府) | 佐長光祥(香川県)   | 裸 正人(滋賀県)  |
| 岩本三郎(京都府) | 佐々木ひとみ(新潟県) | 南 誠一(福井県)  |
| 太田利雄(長野県) | 高橋達也(山口県)   | 本川達也(岐阜県)  |
| 大野康正(岡山県) | 高橋陽一(兵庫県)   | 門間佳一(北海道)  |
| 大前次男(京都府) | 高山竜嗣(大阪府)   | 保田彦佳子(新潟県) |
| 岡 修次(徳島県) | 田中康進(大阪府)   | 安富豊(京都府)   |
| 岡村伸夫(京都府) | 成田敦(静岡県)    | 山崎恵(新潟県)   |
| 萩原久夫(長野県) | 難波明則(大阪府)   | 吉川一憲(岐阜県)  |
| 尾崎瞳(鳥取県)  | 野口文雄(愛知県)   | 匿名 20名     |

◆ 件数 71件 ◆ 寄付金総額 15,115,000円

● お問い合わせ先  
**教育振興資金事務局** 〒603-8143 京都市北区小山上総町 大谷大学総務部校友センター内  
 TEL: 075-411-8124 FAX: 075-411-8157  
 E-mail: kouyu@sec.otani.ac.jp

# 時計の価値

長い間、腕時計をしない生活をしてきたが、専任教員になってからは、たえず時刻を確認し、時間を管理する必要性に迫られた。そこで、腕時計を買おうと考え、まずはネットで調べてみた。検索すると、数百円から数百万円までさまざまな腕時計がずらりと出てきたが、意外なことに、一定の価格以上の高級時計はすべて機械式時計であった。

つまり、何十万円、何百万円もする高級な腕時計とは、時刻が一日に数秒以上狂うので数日に一度は時刻合わせをしなくてはならず、手で巻いたり、手首につけて動かしたりしてゼンマイを巻かなくては二、三日で止まってしまふ時計ばかりなのである。これは、車でいうと高級車は蒸気機関で動くとか馬が引くとか、携帯電話でいうと高級機種はカメラもついてない白黒液晶のガラケーであるとか、そういう話である。

そんな車や携帯電話は誰もほしがらないのに、こと時計に関しては、前時代的で低性能なものが高級であり高価であるという不思議な価値の転倒がまかり通っているのだ。

その理由を調べてみると、1970年代に日本のセイコーが世に出した精

度の高いクォーツ時計によってスイスの時計製造業が大打撃を受け、生き残りのために機械式時計の高級ブランド化を図って、それに見事成功したためであった。元来、時計の価値は正確さにあつたが、機械式時計には工芸的・趣味的価値が見出されることによつて、クォーツ時計は機能性、機械式時計は贅沢な趣味、という住み分けが成立したのである。生き残るために、自分が勝負できる新しい価値の軸を立て、それを世界に認めさせたスイス時計の戦略には、我々も学ぶところが多いと思われる。

とはいえ、私は実用上の必要に迫られて腕時計を求めていたので、当然ながら面倒で高価な機械式ではなく、シチズンのソーラー電波時計を購入した。その後、二年もたたないうちに腕時計が十本以上に増えてしまったのは、また別のお話である。



国際文化学科 准教授  
藤田 義孝  
専門分野 / フランス文学・フランス語教育

## 時代を照らす仏教のことば

美なくしては、  
人間の生全体が  
不毛であろうし、  
どのような偉大さも  
時の移り変わりに  
耐えることは  
できないだろう。

ハンナ・アレント「文化の危機」  
〔過去と未来の間〕みすず書房 295頁

### 編集後記

「取材に参加できて本当によかった。」と語る学生がいました。それを聞いて、今回の取材をきっかけに、学生が自信を持つことができたのではないかと思いき嬉しくなりました。学生生活はあっという間に過ぎますが、そのなかでの体験をかけがえのないものにしてほしいと思います。

(編集担当)